



農作業安全に対する取り組み

2022年6月2日
株式会社クボタ

- ◆ 前 説
- ◆ I . シートベルトは命綱
 - I - I . 全国トップレベルの地区との連携による優良事例創出の取り組み
 - I - II . 農作業安全研修指導者による伝達活動
- ◆ II . 農業生産法人の優良事例から学ぶ
- ◆ III . 万一の時の労災保険への加入促進

◆ 前 説

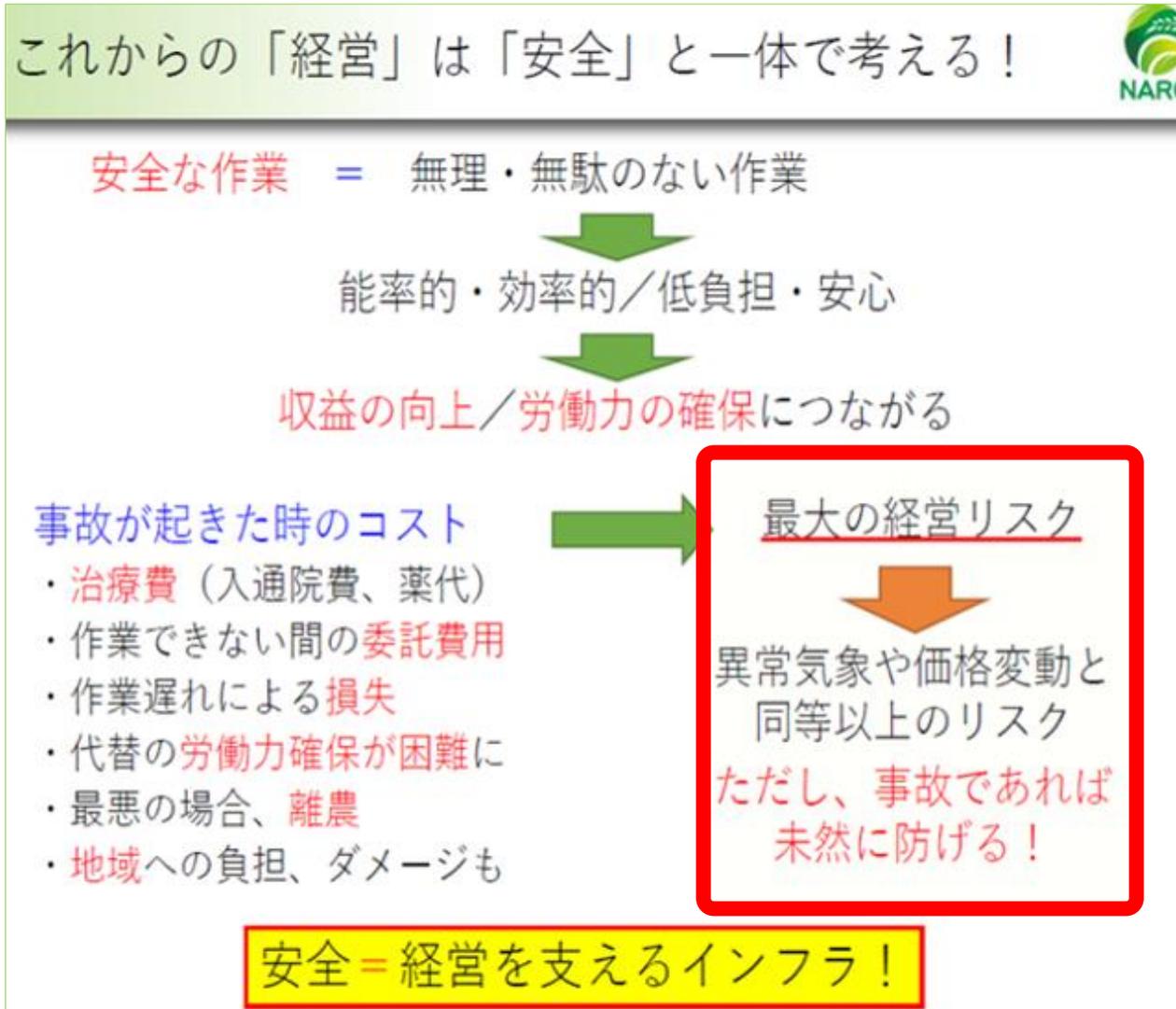
◆ I . シートベルトは命綱

- I - I . 全国トップレベルの地区との連携による優良事例創出の取り組み
- I - II . 農作業安全研修指導者による伝達活動

◆ II . 農業生産法人の優良事例から学ぶ

◆ III . 万一の時の労災保険への加入促進

■ 農作業安全は、農業経営の一丁目一番地



■ 本日の説明の範囲は「安全活動」

安全活動

人がミスを犯さないようにする取り組み
自分がこれから行う作業で**事故が起こらない**
ようにする行動

- ◆KYT（危険予知活動）
- ◆指差呼称



機械安全

人はミスをするもの、機械は故障するもの、
このどちらかで事故がおきる。
この前提で、**機械側**で危険源を極力取り
除き、それでもだめなら保護装置、
それでもだめなら取り扱い注意という考え方。

- ◆リスクアセスメント
（危険源の同定→リスク見積→リスク評価）
+
- ◆リスク低減策
 - ① 本質的安全設計（無人化）
 - ② 安全防護方策(ROPS&シートベルト)
 - ③ 付加保護方策
 - ④ 使用上の情報（取扱説明書）

◆ 前 説

◆ I . シートベルトは命綱

- I - I . 全国トップレベルの地区との連携による優良事例創出の取り組み
- I - II . 農作業安全研修指導者による伝達活動

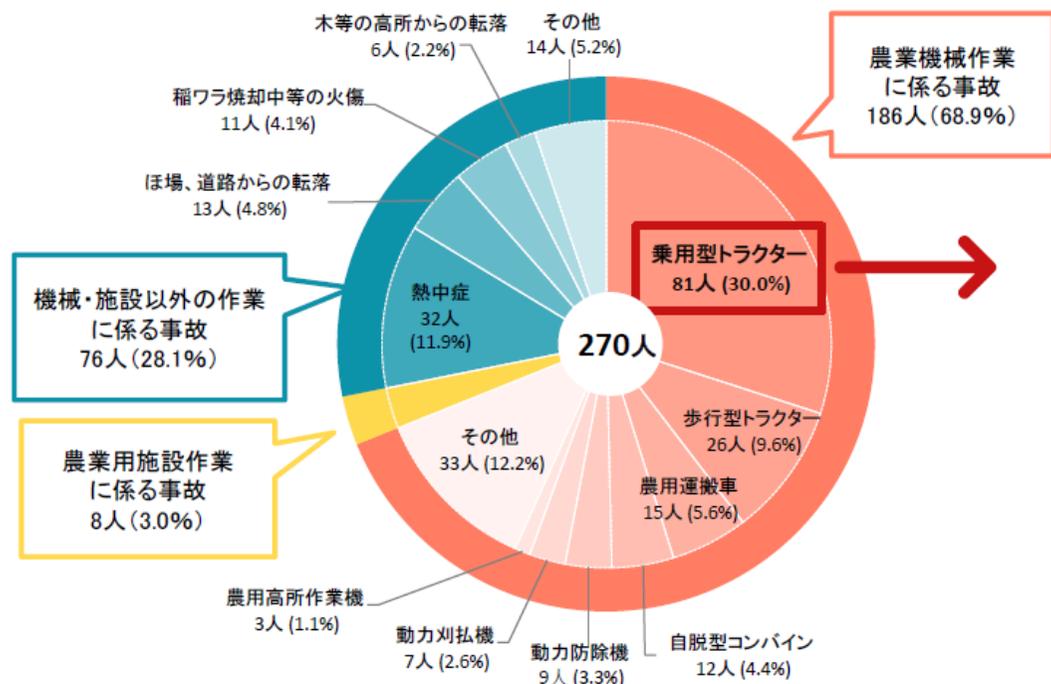
◆ II . 農業生産法人の優良事例から学ぶ

◆ III . 万一の時の労災保険への加入促進

■ シートベルトは命綱

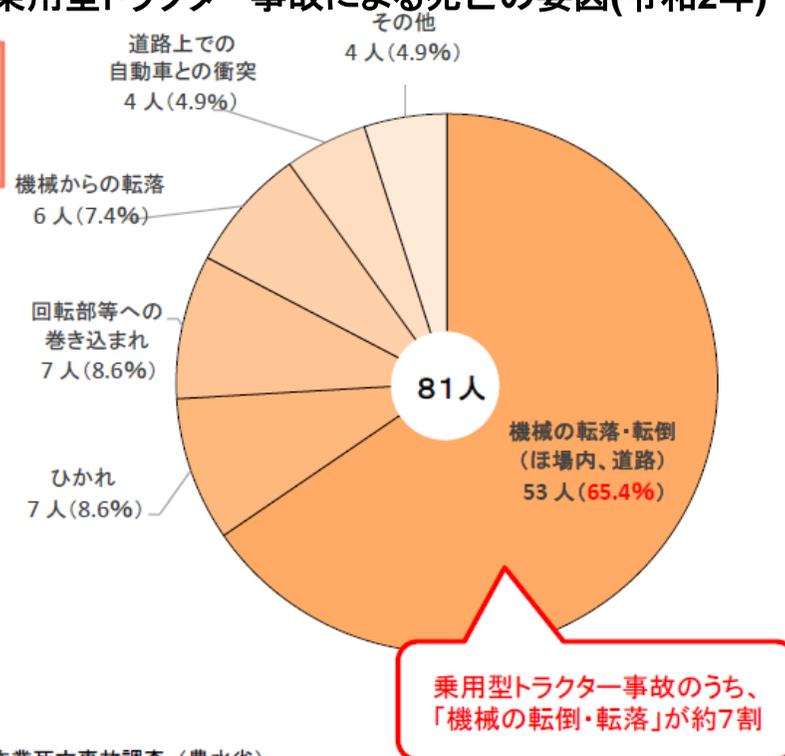
- 令和2年の農作業死亡事故を要因別にみると、「農業機械作業に係る事故」が186人（68.9%）と最も高い状態が継続しており、農業機械作業の安全対策の強化が急務。
- 農業機械作業に係る事故のうち乗用型トラクターに係る事故が81人と最多。その中でも「機械の転落・転倒」による死亡者が53人と最多となっており、乗用型トラクターの転落・転倒事故対策が引き続き重要。

要因別の死亡事故発生状況(令和2年)



農作業死亡事故調査（農水省）

乗用型トラクター事故による死亡の要因(令和2年)



農作業死亡事故調査（農水省）

(出所) 農林水産省「令和4年春の農作業安全確認運動の展開について」4頁

■ シートベルトは命綱



(出所) 株式会社クボタ「安全はクボタの願い“トラクタを安全にご使用いただくために”」

■ 安全フレーム&シートベルトキットを復刻販売

(1) 概要

後付け可能な構造を持つトラクタを対象に、1990年代に販売していた後付け用安全フレーム・シートベルトのキットを復刻販売

(2) 実績

1,308台 ※ 2020年4月～2022年4月期間

(3) 未装着者へのフォロー

**アンケートご記入の方に
もれなくプレゼント!**



**クボタオリジナル
キーホルダー**

※ 画像はイメージとなります。
実際の製品とは異なる場合がございます。

Q1 お客様のお持ちの機械について、お伺いします。
下記の対象機の状態をお聞かせください。(該当する項目を選んでください)

<input type="checkbox"/> アステシリーズ(A-15,17,19)	<input type="checkbox"/> アステファイブシリーズ(A-155,175(F),195(F))
<input type="checkbox"/> グレイツシリーズ(GT-3,5(F),8(F))	<input type="checkbox"/> グランデルシリーズ(GL19,21,23,25,26,27,29,32,33)

保有していて、今も使用している
 保有しているが、今は使用していない
 保有していない

Q2 今回ご案内の後付け用安全フレーム・シートベルトキットについてお聞かせください。

1. お持ちの機械は弊社から後付け用安全フレーム・シートベルトキットが復刻販売されているをご存じでしたか? WEBサイトからでも
ご回答頂けます

以前から知っていた
 今回初めて知った

2. キットの装着についてお聞かせください。

<input type="checkbox"/> 装着を検討中	<input type="checkbox"/> 装着はいずれ考えたい
<input type="checkbox"/> 今後も装着を考えていない(理由)	
<input type="checkbox"/> 既に装着している	<input type="checkbox"/> その他()

その他ご質問・ご要望がございましたらお聞かせください。

顧客コード印字スペース

(お客さまのさらなる安全のために) For Earth, For Life
Kubota

トラクタ用

安全フレーム・シートベルトキット

の復刻販売に取り組みます



トラクタ重大事故の約6割が「**転倒**」によるものです。^{※1}
クボタは、お客さまのさらなる安全を目指す取組みの一つとして、“安全フレーム・シートベルトキット”を復刻します。^{※2}

※1 出典：農林水産省「平成26年に発生した農作業死亡事故の概要」より ※2 農林水産省が推進する農作業安全確保運動に連携しております



安全フレーム・シートベルト装着で、万一の転倒・転落等の危険を軽減

安全フレームの安全域 (イメージ)

A、GT、GL用 安全フレーム・シートベルトキットを復刻!

(アステ、アステファイブ) (新機) (新機)

上記シリーズのトラクタをお持ちで、安全フレーム・シートベルトが未装備のお客さまへのご提案です。

対象製品	Aシリーズ	GTシリーズ	GLシリーズ	販売価格 (税込)
				11,000円
	アステ 1988～1992年販売 アステファイブ 1992～1996年販売	グレイツ 1992～1997年販売	グランデル 1990～1993年販売	※ 記載の価格は2022年3月現在、消費税率は10%です。

キット料金と組付料金のセット価格

■ 安全フレームとシートベルト装着がされて、はじめて安全域確保となる！

キャビン、ロプスによる安全域の確保



機械の転落転倒時に安全域が確保され、死亡事故に最もつながりにくい。

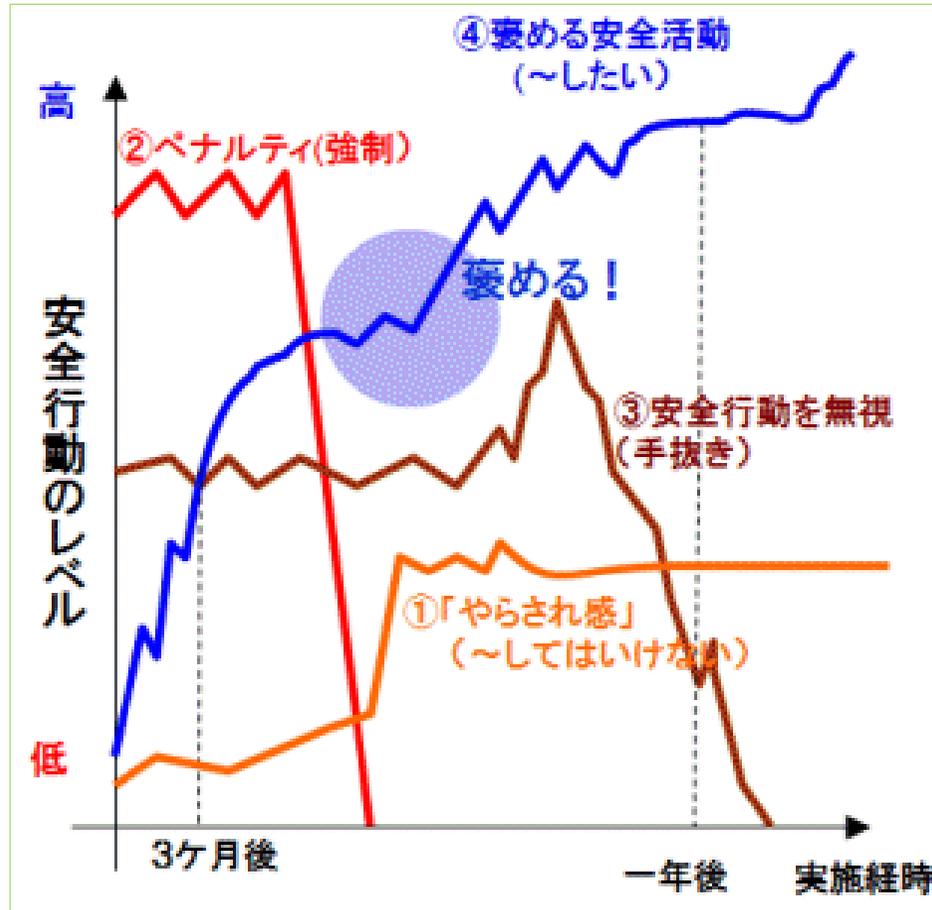
機械の転落転倒時に安全域が確保され、死亡事故につながりにくい。
安全域に留まるためにシートベルトの装着が特に重要。

機械の転落転倒時の安全域がなく、死亡事故につながる危険性が高い。

■ 行動科学セーフティマネジメント BBS(Behavior based safety)

北風(強制)➡太陽(褒める)が推奨される論文がある。

安全行動をとればどんないことがあるのか



(出所) 和歌山社会経済研究所 2020年4月レポート 安井尚人「不安全行動の本質と対応について」

■ 行動科学セーフティマネジメント BBS(Behavior based safety)

「叱るのではなく、褒めて問題を解決できないか。」

褒めて伸ばせ

四季

2022・3・5

秋本治さんの人気漫画『こちら葛飾区亀有公園前派出所』(166巻)に「褒めて伸ばせの巻」がある。仕事でゲームに熱中する。

る。両さんに部長が雷を落とすのだが、部下・中川の助言で逆に褒めてみると、両さんが仕事を始める。中川いわく「力づくでは物事は解決しません！上手な対話が大切なんです」▼叱るのではなく、褒めて問題を解決できないか。そんな発想から生まれたのが、首都高を走る「ホメパト(ホめるパトカー)」。放送作家の小山薫堂さんが発起人となり、市民を巻き込んだ安全運動として2007年から始まった。今も白とピンクのチェッカーフラッグが付いた2台のホメパトが走り、道を譲ってくれたドライバーには「ありがとう」ランプを点灯。渋滞のイライラが解消し、心もほっこりするとか▼仕掛け人の山名清隆さんは「違反を取り締まるパトカーはあっても、その逆はない。あったらいいねでできちゃいました」。実際、事故は減っている▼きょうは二十四節気の啓蟄(けいちつ)。冬眠していた虫たちが穴から出てくる時で、農作業を始めるのにふさわしい日という▼「そのトラクター操作、上手ですね」。農村にもこんなホメ軽トラが走り、優しい声掛けで事故が減ったらしいなあ。

(出所) 日本農業新聞 2022年3月5日 「四季」1面

■ 行動科学セーフティマネジメント BBS(Behavior based safety)

『叱るのではなく、褒めて問題を解決できないか。』

ホメパト



スバル BRZ号



(出所) JAPAN SMART DRIVER <https://www.smartdriver.jp/homepato>

- ◆ 前 説
- ◆ I . シートベルトは命綱
 - I - I . 全国トップレベルの地区との連携による優良事例創出の取り組み
 - I - II . 農作業安全研修指導者による伝達活動
- ◆ II . 農業生産法人の優良事例から学ぶ
- ◆ III . 万一の時の労災保険への加入促進

■ オホーツク地区農作業安全運動推進本部とは

農作業事故は個々の努力だけでは防ぐことが難しい。自分事として捉え、地域が一体となって農業者をサポートする体制の構築が望ましい。北海道オホーツク地区では、オホーツク地区農作業安全運動推進本部を主体として地域包括で農作業安全に対する取り組みが進められている。



地域包括での農作業安全取り組みイメージ

■ オホーツク地区農作業安全運動推進本部の取組み

北海道オホーツク地区は地域をあげて「オホーツク農作業事故ゼロ宣言」を掲げて農作業安全に関する取組みを図っている。2020年から2022年を「農作業事故ゼロ推進キャンペーン期間」に設定し、各地域への啓発活動や安全フォーラムなどの実施。農作業安全に向けた取組み説明の一環として カードを配布するなど、地域で農作業安全に向き合う姿勢が見られる。

「オホーツク農作業事故 0 宣言」ポスター



「私の農作業安全宣言」カード



(出所) ホクレン農業協同組合連合会 ホクレン営農支援情報2020年10月号

■ 農作業安全取組み取材参加者(2021年10月6日)

- 北海道 オホーツク総合振興局 農業振興部農務課 1名
- ホクレン農業協同組合連合会 課長 他3名
- 北海道農業協同組合中央会 北見支所 調査役 他1名
- オホーツク地区青年部 会長 他2名
- 株式会社クボタ 2名



オホーツク地区農作業安全運動推進本部の取組み取材の様子

■ 従来の農作業安全啓発からの脱却(クボタが提案したこと)

シートベルトを「着用したほうがいい」と思っているにもかかわらず「着用していない」という方が多い。シートベルト着用励行の大切さを想起させ、心により強く伝わる、残る方法を検討した。



誰もが分かりやすい再度の意識づけ、きっかけづくりへ

■ 2022年具体的提案例(デジタルフレーム)

「私、かける、シートベルト」

トラクタ乗車時のシートベルトの着用は事故ゼロに向けた1丁目の1番地です。



× シートベルト = 家族の願い。



× シートベルト = ずっと農業。



× シートベルト = 子供との約束。



× シートベルト = 当り前の習慣。



× シートベルト = オホーツクの常識。

オホーツク地域では、農業に係わる全ての人が、自ら農作業安全について考え、声を上げ、意識を持って取り組む姿を目指します。



オホーツク
農作業事故^{ゼロ}宣言

■ 2022年具体的提案例(ステッカー)

3デザインを提案

キーオフ!

おかしいと思ったら
エンジンを停止

オホーツク
農作業事故 $\text{\textcircled{0}}$ 宣言

\カチッ/

今日もシートベルトを
ありがとう

オホーツク
農作業事故 $\text{\textcircled{0}}$ 宣言

ヨシ

ちゃんと合図
しっかり指差し確認

オホーツク



トラクタ後輪フェンダー一部 貼付イメージ

◆ 前 説

◆ I . シートベルトは命綱

- I - I . 全国トップレベルの地区との連携による優良事例創出の取り組み
- I - II . 農作業安全研修指導者による伝達活動

◆ II . 農業生産法人の優良事例から学ぶ

◆ III . 万一の時の労災保険への加入促進

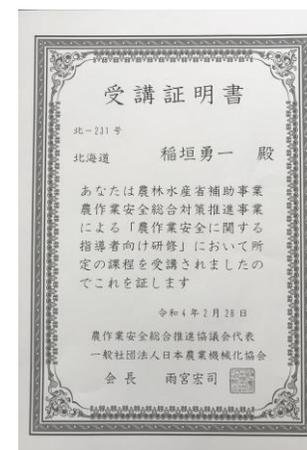
■ 農作業安全研修指導者

農作業安全に関する指導者候補数

都道府県、市町村	1,470
農業者団体	1,210
農業機械メーカー、販売店	575
農業機械士	162
労働安全衛生コンサルタント	123
指導農業士・農業経営士等	107
その他(GAP指導員等)	298
合計	3,945

クボタグループの指導者 (受講修了者)

クボタ販売会社	117
クボタアグリサービス クボタ	71
合計	188



■ 農作業安全研修会の実例について（座学）



倉敷河上農機株式会社様の農作業安全研修の様子（2021年11月17日）

■ 農作業安全研修会の実例について（実地）



倉敷河上農機株式会社様の農作業安全研修の様子（2021年11月17日）

■ クボタ指導者の研修コンテンツを統一

農作業安全に関する指導者向け研修

4 実際の農作業安全研修のイメージ

SAMPLE IMAGE

- 農作業安全に関する指導者の皆様の役割は多岐にわたるが、農作業安全に関する研修を実施する場合の参考として、研修のイメージを作成した。
- 研修テーマは、「乗用型トラクター使用時のシートベルト装着」とした。
- 本想定案はあくまで例示であり、実際の研修実施にあたっては、例えば自県の最近の事故事例やデータを資料に挿入する等、より農業者が自分のこととしてとらえるような講義内容としていただきたい。

(出所) 一般社団法人日本農業機械化協会「農作業安全に関する指導者向け研修資料」

■ 農作業安全 e-Learning トラクタ編

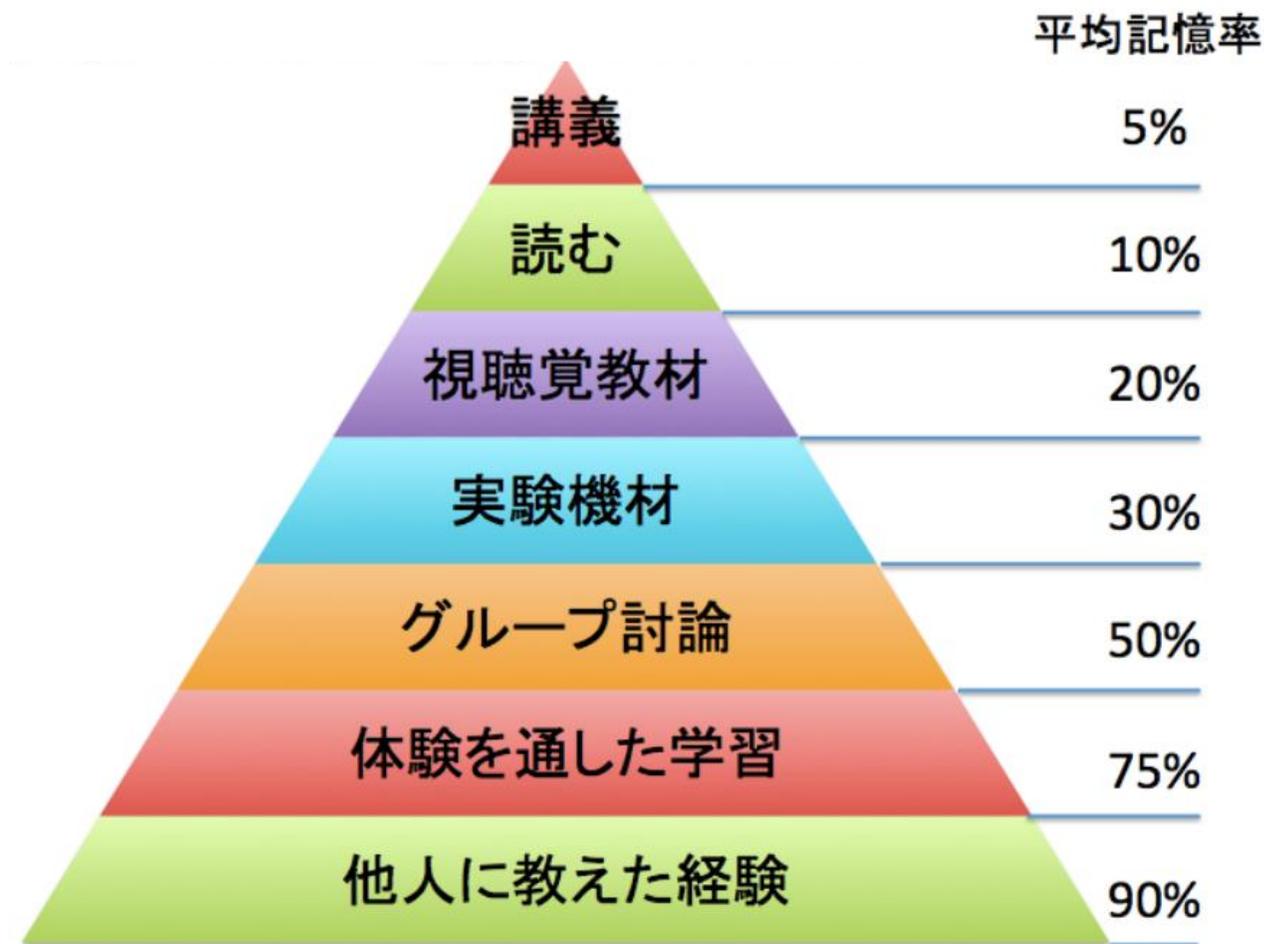
弊社ホームページにて農作業安全e-Learningを公開。

道路走行・ブレーキ連結に関する動画説明



(出所) 株式会社クボタ 「安全はクボタの願い“トラクタを安全にご使用いただくために”」

■ ラーニングピラミッド



(出所) National Training Laboratories 「Learning Pyramid」

■ 農林水産研修所つくば館 水戸ほ場のカリキュラム

令和3年度 農作業安全推進研修

農作業安全指導・短期コース

令和3年12月13日(月)～12月14日(火)

(定員：6名)

(研修のねらい)

本研修は、農作業安全対策を推進する地域の指導者が農業者研修教育施設における研修や安全講習会等の場において必要な知識、技術の習得を目標とする。

(受付)

月日	区分	研修項目等	主な内容
12 / 13 (月)	午前	9:00～9:15 開講式・オリエンテーション	第1教室
		9:15～12:00 乗用型トラクターの傾斜面・傾斜路危険体験と安全走行実習 (講師：技術研修指導官 [])	10度の斜面をサイズ・速度の異なるトラクターで走行した場合の危険性比較と安全確保の方法、15度(安全装置付)の斜面での横転疑似体験、急坂(15度・20度)を昇降する時の危険性比較

15度(安全装置付)の斜面での横転疑似体験

(出所) 農林水産研修所つくば館水戸ほ場HP「令和3年度 農業機械・農作業安全研修計画」

■ 農林水産研修所つくば館 水戸ほ場での転倒模擬体験



トラクタ走行用斜面



傾斜面15度の突起に取り上げるトラクタ

■ 農林水産研修所つくば館 水戸ほ場での転倒模擬体験



転倒防止器具(傾斜面15度側)



畔越え体験用人工畝を走行するトラクタ

◆ 前 説

◆ I . シートベルトは命綱

- I - I . 全国トップレベルの地区との連携による優良事例創出の取り組み
- I - II . 農作業安全研修指導者による伝達活動

◆ II . 農業生産法人の優良事例から学ぶ

◆ III . 万一の時の労災保険への加入促進

■ 2022新春オンラインイベントにおける取組事例紹介

(2022年1月20日に配信、約1万人が視聴)



大規模稲作経営を行いながら安全第一を徹底する中森農産様の元に弊社社員が体験入社。構成は以下の通り。

- 中森農産様の取組事例紹介
- 鈴木労働安全衛生コンサルタント事務所・鈴木様による農作業安全ポイントの解説
- 中森代表取締役と(株)イカリファーム井狩代表取締役による農作業安全に関する対談

■ 中森農産株式会社

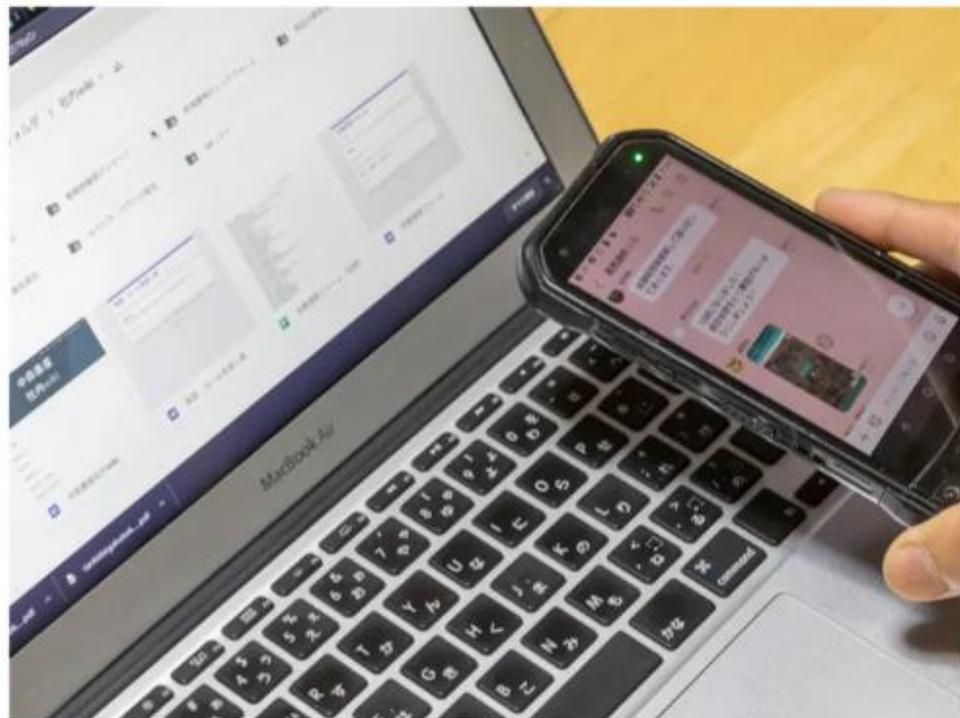
安全対策の徹底には、当事者意識が不可欠！社員が「ヒヤリ・ハット」を共有しやすい仕組化を推進。



(出所) 株式会社マイナビ マイナビ農業HP「安全対策の徹底には、当事者意識が不可欠！社員が「ヒヤリ・ハット」を共有しやすい仕組化を推進」

■ 中森農産株式会社

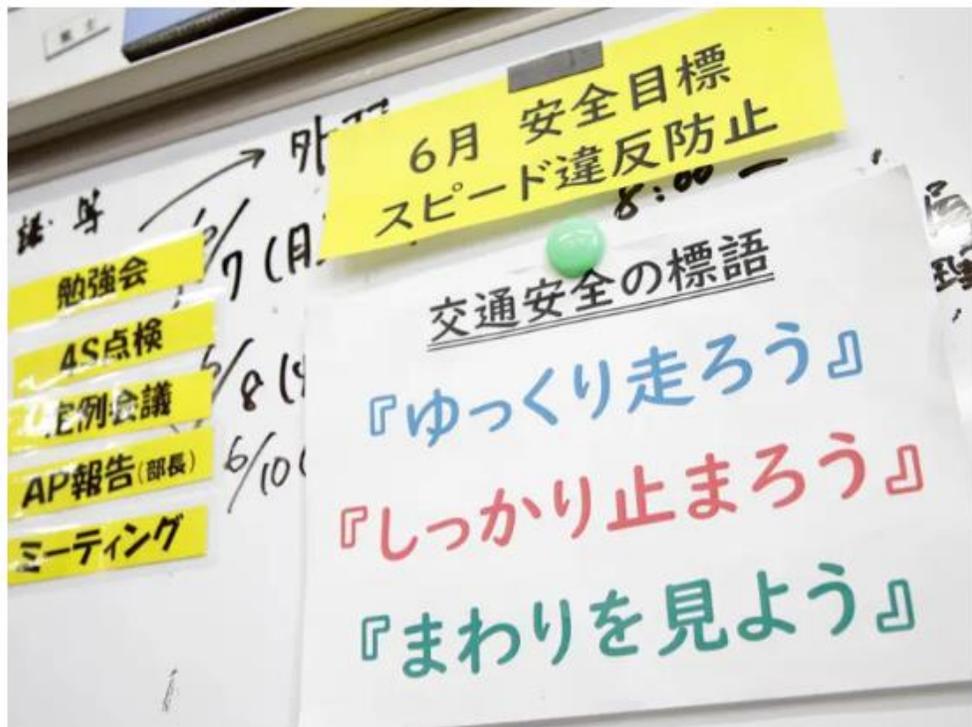
安全対策の徹底には、当事者意識が不可欠！社員が「ヒヤリ・ハット」を共有しやすい仕組化を推進。



(出所) 株式会社マイナビ マイナビ農業HP「安全対策の徹底には、当事者意識が不可欠！社員が「ヒヤリ・ハット」を共有しやすい仕組化を推進」

■ 株式会社イカリファーム

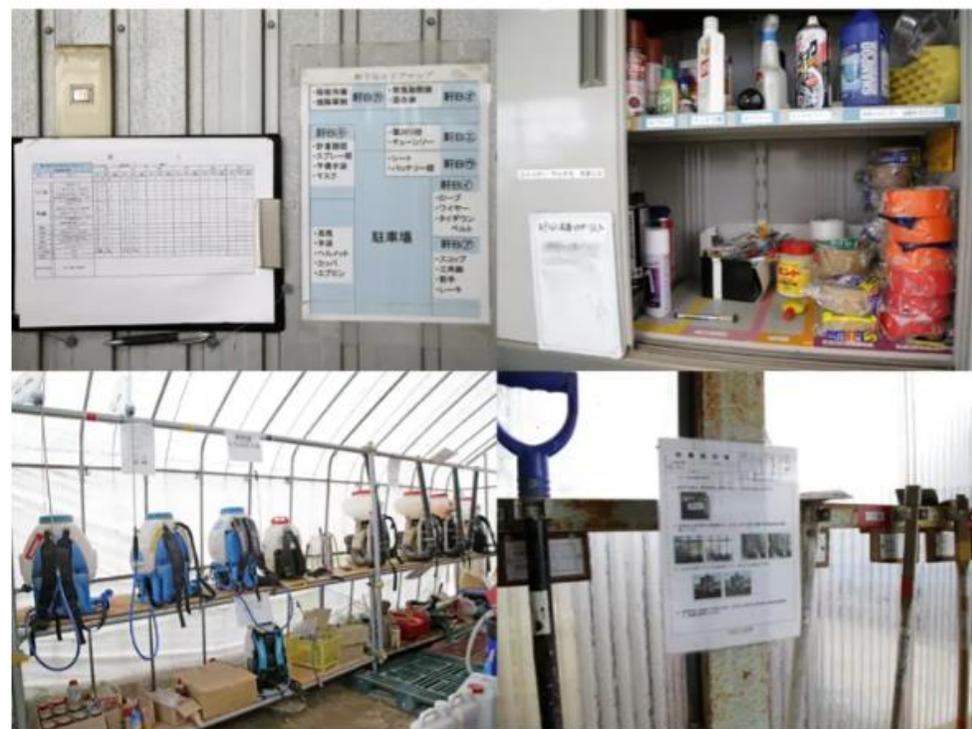
安全への取り組みは、売上や効率よりも重要だ!



(出所) 株式会社マイナビ マイナビ農業HP「事故やミスの大半は人に起因。だからこそ、作業時の安全確保には人の意識と能力アップが不可欠だ!」

■ 株式会社イカリファーム

事故やミスのおお半は人に起因。だからこそ、作業時の安全確保には人の意識と能力アップが不可欠だ!



(出所) 株式会社マイナビ マイナビ農業HP「事故やミスのおお半は人に起因。だからこそ、作業時の安全確保には人の意識と能力アップが不可欠だ!」

■ 農作業安全のトップランナー



(出所) 株式会社クボタ 「【GROUNDBREAKERS】クボタ社員が中森農産に体験入社！？農作業安全の取り組みに迫る」

■ SNSを活用した情報発信

時期に合わせてニュースレターを発信

【Kubota NEWSLETTER 1月号】農作業のお悩み解決！
この時期おすすめの商品・サービス情報をお届けします

For Earth, For Life
Kubota

Kubota NEWSLETTER



稲垣様

日ごとに暖かさを感じられるようになり、いよいよ春らしくなってきましたね。
春の農作業が本格化し、忙しくなるこの季節におすすめの商品やメンテナンス情報、WEBセミナーの情報をお届けいたします。

「農作業安全」



トラクタ運転時はシートベルトの着用を！

秋の農作業が本格化する9月10月は農業機械の事故も多くトラクタの事故も増える傾向にあります。

トラクタの運転時はシートベルトを着用し重大事故を防止しましょう。ご安全に！

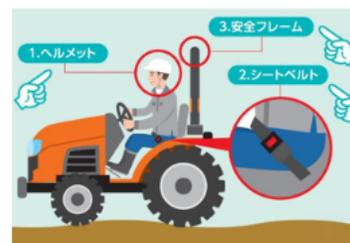
POINT▶トラクタの死亡事故で多い「転倒・転落」時にもシートベルトは重要
下記3点セットで、運転者の安全域を確保し衝撃から頭を守ることができます。

- ①シートベルトの着用
- ②安全フレームを立てる もしくは 安全キャビン付きのトラクタを使用
- ③ヘルメットの着用

安全な農作業のキホンHP

トラクタの事故防止チェックシート

「特に重要なポイント」



- ①シートベルトとヘルメットを装着
キャビンなし機は安全フレームを立てる
- ②道路走行時は左右のブレーキを連結
- ③路肩に注意して走行
- ④駐車時・メンテナンス時は確実に停止
- ⑤始動・後進時は周囲に注意

尚、作業機付きトラクタの公道走行に関する新たなガイドブックが発行されました。その内容も「安全な農作業のキホン」サイトに掲載しております。

安全ポイントの詳細はこちら

新ガイドブックの詳細はこちら

■ SNSを活用した情報発信

時期に合わせてニュースレターを発信

【Kubota NEWSLETTER 4月号】農作業のお悩み解決！
この時期おすすめの商品・サービス情報をお届けします

For Earth, For Life
Kubota

Kubota NEWSLETTER



稲垣様

春の日差しが暖かく、田植え準備をはじめ春の農作業が忙しい時期になりましたね。今月は、農作業を効率的に行える便利な機械のご紹介や、機械を使う前に確認したいチェックポイントやメンテナンス情報、皆様の営農に役立つWEBセミナー情報をお届けします！

「農作業安全」



田植機の安全作業ポイント

田植機の稼働シーズンが始まりました。年に1度の田植え作業を安全に行っていただくために、主要な作業ポイントを紹介します。

POINT1▶ あゆみ板を正しく使用しましょう。

田植機は公道走行できないため、安全な積み下ろしが重要です。適切な長さのあゆみ板を確実にセットしましょう。また、急な傾斜はバックで上る、または、あぜごえアームを使いましょう。

POINT2▶ 点検時のケガに注意しましょう。

点検時に植付爪への接触などによるケガが起こりがちです。点検時は次の取扱いを守りましょう。

- ① エンジンを停止してキーを抜く
- ② 植付部昇降の油圧をロックする
- ③ 鋭利な刃に手を近づけない。

具体的な作業ポイントや安全動画、クイズをHPで紹介しています。ぜひ作業前にご覧いただき、安全に田植え作業を行ってください。

[詳細はこちら](#)

■ SNSを活用した情報発信

時期に合わせてニュースレターを発信

【Kubota NEWSLETTER 9月号】農作業のお悩み解決！
この時期おすすめの商品・サービス情報をお届けします

For Earth, For Life
Kubota



お客様

本格的な実りの秋。収穫作業に加えて、乾燥調製作業や野菜の定植・収穫、作業の記録など、変わりやすい天候もあって忙しい時期ですね。今号では、そんな様々な作業を効率化する商品・サービスの情報をお届けします。

さらに、長い収穫シーズンをスムーズに過ごしていただけるよう、セルフメンテナンスのコツや農作業安全のポイントもご紹介します。今月もご安全に！

＜農作業安全＞

コンバイン作業 安心のポイント！

稲刈りシーズンを迎えました。コンバインでの収穫作業を安心して行っていただく上で、特に重要な取扱いをご紹介します。



POINT 1 ▶周囲の安全に注意、特にバック時に注意しましょう

作業時は運転者以外、補助者もほ場に入らないようにしましょう。バック時は、後方に人がいないか、あぜを乗り越えないか特に注意しましょう。バックモニター（※）は視界に制約があります。バックミラーや目視でも確認しましょう。

※装備機種対象

POINT 2 ▶発火を防ぐため、こまめに清掃しましょう

機体の発火を防ぐため、高温部(エンジン、マフラーなど)、回転部、燃料・オイル経路を、定期的に掃除・点検しましょう。こまめな掃除はわら詰まりによる作業中断も予防出来て、作業を早く終わらせることにもつながります。

詳しいポイントは安全な農作業のキホンWEBサイトに掲載しております。また、コンバインの安心作業のためのチェックシートをご用意しております。ぜひご利用ください。

■ クボタの農作業安全啓発ツール

安全な農作業のキホン(リーフレット)



■ メディアを通じての情報発信

For Earth, For Life
Kubota

みんなひとつに。
農作業安全。

「ご安全に」こんな挨拶をご存じですか？
一般には耳慣れないかもしれませんが、工場や建設現場では、当たり前になっている挨拶です。
安全意識を喚起しながら働く仲間の無事を願う。
実用性と思いやりにあふれた挨拶だとおもいませんか。

「ご安全に」その由来は、ドイツの演劇で働く人たちの間で使われていた
「ご無事で(Glück auf)」という挨拶であり、
日本においては、昭和20年代ごろ鉄鋼業界を中心に広まり、
製造業・建設業の現場では、安全意識喚起の挨拶活動として、
「自分を含めた従業員の安全を守る」という「安全最優先の意識」とともに定着しました。

今、農業が未来に進むための課題の一つに、農作業中の事故があります。
クボタは、この課題に向き合うべく、農林水産省と連携した
「農作業安全」への取り組みを推進しています。
今後も、さらなる「農作業安全」のために「安全最優先の意識」を
農業従事者のみなさまとともに、拡げて行きたいと考えます。

作業前、農業機械の使用前、そして日頃から「ご安全に」と声を掛け合ってみませんか。
「安全最優先の意識」のお声がけ。
地域で、ご家族で、みんなで笑顔と農作業の安全を増やして行きましょう。

農業従事者のみなさまが、安心・安全に農作業を実施できてこそ、日本の食の未来が拓けます。

みんなひとつに。Go anzenni! [Go 安全に!]

Go anzenni!

(出所) 日本農業新聞 2021年12月28日 「みんなひとつに。農作業安全。」8面・9面 全面広告

◆ 前 説

◆ I. シートベルトは命綱

- I - I. 全国トップレベルの地区との連携による優良事例創出の取り組み
- I - II. 農作業安全研修指導者による伝達活動

◆ II. 農業生産法人の優良事例から学ぶ

◆ III. 万一の時の労災保険への加入促進

Ⅲ. 万一の時の労災保険への加入促進

■ 農業者向け労災保険の種類

農業者向け労災保険は3種類。対象者に合わせて加入。

<p>特定農作業従事者</p>	<p>①「年間の農業生産物(畜産及び養蚕に係るものを含む)の総販売額が300万円以上」または「経営 耕地面積が2ヘクタール以上」の規模(この基準を満たす地域営農集団などを含む)を有している。</p> <p>②土地の耕作・開墾、植物の栽培・採取、家畜(家きん及びみつぱちを含む)・蚕の飼育の作業のいずれかを行う農業者(労働者以外の家族従事者などを含む)である。</p> <p>③次のアからオまでのいずれかの作業に従事する。</p>	<p>JA・ 県中央会 等</p>
<p>指定農業機械 作業従事者</p>	<p>農業者(労働者以外の家族従事者などを含む)であって、特定の機械を使用し、土地の耕作、開墾または植物の栽培、採取の作業を行う人。</p> <p>【特定機械の例】動力耕うん機その他の農業用トラクター、コンバイン、自走式スピードスプレイヤー、ドローン 等</p>	<p>JA・ 県中央会 等</p>
<p>中小事業主等</p>	<p>農業の場合には常時300人以下の労働者を使用する事業主(事業主が法人の場合にはその代表者)および労働者以外でその事業に従事する人(特別加入ができる事業主の家族従事者など)。</p> <p>なお、労働者を通年雇用しない場合であっても、1年間に100日以上、労働者を使用することが見込まれる場合を含む。</p>	<p>労働保険 事務組合</p>

出所：厚生労働省「農業者のための特別加入制度のしおり」

Ⅲ. 万一の時の労災保険への加入促進

■ 農業者向け労災保険制度の加入率

関西労働者安全センターの情報によると、農業者の労災保険特別加入制度の加入率は7.4%。農業法人が増加する一方、労災保険制度がほとんど活用されていない。

自営農業者の労災保険加入は 7.4%

「農林業センサス」による農業就業人口（基幹的農業従事者と、兼業ではあるが農業の従事日数の方が多い農業従事者の合計）は同年で 175.3 万人である。この数字には、雇用労働者として農業に従事する労働者を含まない、「自営農業」についての数字なので、ちょうど農業の特別加入制度の対象と重なることとなる。したがって現在の加入者数 129,291 人を 175.3 万人で除して得られた数字、7.4%が労災保険の加入率ということになる。

たいへんな労働災害多発産業なのに、手厚い保護内容が完備された労災保険制度がほとんどと言ってよいほど活用されていないのだ。 どうしてだろうか。

出所：関西労働者安全センターHP

「労災保険「特別加入制度」をすべての働く人が真っ当な給付を受けられるものにー農業分野の災害多発からみえる労災保険の問題点ー」

Ⅲ. 万一の時の労災保険への加入促進

■ 農労働災害発生時の責任

常時雇用労働者が5名未満の場合は労災保険加入は任意であるが、労災事故発生した場合には事業主に責任が問われる。

常時雇用労働者が5名以上の個人経営体 → 労災保険加入は事業主の義務

常時雇用労働者が5名未満の個人経営体 → 労災保険加入は任意

**しかし、
雇用労働者に労災事故が発生した場合は
事業主に責任が問われる**

Ⅲ. 万一の時の労災保険への加入促進

■ 広島方式

広島県では社労士法人たんぽぽ会が発起人となり、農業者向け労災保険3種類の加入窓口を一つにする「広島方式」を確立した。加入申込から労災保険申請手続までワンストップサービスを実現。



アグリ安全協会とは？

広島県下の農業者、農業法人等が特別加入できる組織です。社会保険労務士法人たんぽぽ会では「アグリ安全協会」を設立して保険料の申告納付等、事務代行を行っています。

広島県内農業従事者労災保険加入組合とは？

広島県下の農業者が特別加入できる組合です。平成21年4月に「指定農業機械作業従事者」用特別加入団体が県下統一されました。社会保険労務士法人たんぽぽ会では、広島県内農業従事者労災保険加入組合を運営し保険料の申告納付等、事務代行を行っています。

みんなひとつに。
農作業安全。



これからも農作業事故撲滅に向けた取り組みを続けて参ります。
皆様のご協力をお願い申し上げます。